



永島知洋の

# 旅打ちで！ エンジョイ！

## profile

1979年2月8日生まれの46歳。98年にお笑いコンビ「ジャンファンカ」でデビューしたのち、ピン芸人として活動。ポートレース歴は20年以上。サンテレビ「ポートの時間」やレース場のイベントなどで活躍中。

## no.37 夏はウナギでうなぎ盛り!?(桐生)

夏だ、夏だ、夏だ！ って言うてもずっと暑いですけどね。夏休みの計画を立ててる方も多いと思いますが。



みなさんはどちらに!? 僕は基本、夏休みというのは取らないんですが、予定が空いた日は夏でもゴルフ! 暑くても耐えます。耐えながらのゴルフ! 今年の夏も耐えましょう。

その暑さに耐えるには、やっぱりうなぎ! うなぎですよね〜。今回はうなぎのイメージがあまりないかと思いますが、栃木県足利市にある鰻屋「ふか川」さん!



このうなぎがこれまた美味い。なぜ足利? そう、ここは群馬県との県境で、群馬と言えばポートレース桐生。桐生に旅打ちに行く時はちょっとお昼に寄ってみてはいかがでしょうか。太田市から渡瀬川を渡ったらすぐです。そしてこの鰻屋さんを紹介してくれたのは…この方、山崎智也さん!

智也さんが好きな鰻屋さんなんですよ。相変わらずの表情ですが…元気

です(笑)。僕がポートレース桐生で仕事が入ると付き合ってくれるんです。そして連れて行ってくれるんです。本人はいつも「嫌々やで」って言いますが。絶対に嫌々ではない。なんの自信やねん(笑)。

鰻屋さんですからうなぎはもちろんなんですが、やっぱり肝焼きは絶対でしょ。絶対に食べたい肝焼き。ただ、非常に人気店なので

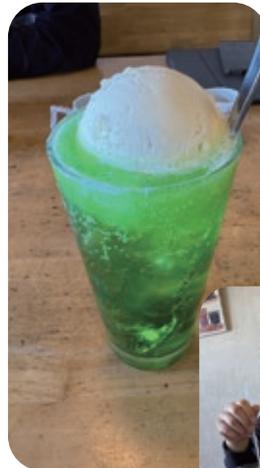


すぐに売り切れるんです。でもですよ? 智也さんが前日に予約を入れてくれて、肝焼きまで予約しといてくれたんです。なんて優しいんだ! ありがとうございますとお礼を伝えると「嫌々やで」。絶対、嫌々ではない(笑)。

肝心の鰻重はこちら! はい、綺麗! 味は見た目よりはあっさりなタレでパクパクいけます。ふっくらうなぎが進みます。肝を食べて、うなぎを口に放り込む。もうフルコース。幸せな時間です。



そしてうなぎを食べた後はこれ。ちょっと先にある喫茶店でクリームソーダ。昔ながらのクリームソーダ。智也さんは「俺はアイスコーヒーでいいよ。クリームソーダって子供か!」と文句を言いながら、食後の時間を楽しみました。



そして何でもない話を2人でしながら智也さんが「そろそろ時間やる? いってらっしゃい。頑張ってる」って見送ってくれる。これが私のポートレース桐生のルーティンです。最高の時間です。

みなさんぜひポートレース桐生に向かう際は、ちょっとお昼にうなぎを、そしているかも知れない山崎智也を堪能してください。智也さんがクリームソーダを飲んでいたら、ぜひご一報ください(笑)。

